

中長期ロードマップ



(単位)	2013年度実績	2014年度実績	2015年度実績	2016年度実績	2017年度実績	2018年度実績	2019年度実績	2020年度実績	2021年度実績	2022年度実績	2023年度実績	2024年度実績	2025年度目標
売上高	百万円 75,491	83,379	88,117	94,012	115,700	115,665	100,717	106,723	142,199	159,457	134,425	155,634	180,000
営業利益	百万円 7,883	8,363	8,107	9,580	12,472	5,429	5,230	7,698	17,879	21,170	13,113	19,018	25,000
営業利益率	% 10.4	10.0	9.2	10.2	10.8	4.7	5.2	7.2	12.6	13.3	9.8	12.2	13.9
ROE	% 10.1	9.8	8.3	10.1	12.1	6.0	4.5	5.9	12.1	12.9	6.7	10.2	10~13

中期経営計画

2024年度は、中期経営計画「Exciting CKD 2025」の3年目として収益体制の改善と基盤強化に取り組み、増収増益となりました。今後も成長への投資やESGの取組を着実に推進していきます。

中期経営計画 (2022年度～2025年度 4か年計画)

「Exciting CKD 2025」

事業を通じて社会に貢献し、新たな価値を創出することでお客さまにワクワクしていただく
そして、10年VISIONを達成させ、心躍らせながら次の10年につなげる



経営目標

KPI	2022年度実績	2023年度実績	2024年度実績	2025年度目標
売上高	1,595億円	1,344億円	1,556億円	1,800億円
営業利益	212億円	131億円	190億円	250億円
ROE	12.9%	6.7%	10.2%	10.0%~13.0%
配当政策	配当性向 40.1%	配当性向 40%	配当性向 39.5%	配当性向 40%を目安
自己株買い	-	-	-	機動的な自己株買いを検討

重点取組テーマと進捗状況

1. 収益・事業戦略モデルの進化

取組テーマ	概要	主な進捗・成果	関連ページ
注力する産業： 半導体	半導体分野の需要拡大を見据え生産体制を強化	・米国オースティン工場竣工 ・北陸工場竣工 ・マレーシア新工場竣工 ・テクニカルセンターの設置	特集、 製造資本
注力する産業： 電池	二次電池向け関連投資に、自動機と機器の両事業で受注拡大を狙う	■自動機 リチウムイオン電池用巻回機(高速かつ高精度な巻取りで生産性向上と安定稼働を両立) ■機器 二次電池製造工程対応機器(装置環境に対応した機器で安定稼働と長寿命に貢献)	自動機械 事業戦略
注力する事業： 新商品、新事業	自動化技術を発展させ、お客様の生産性向上と社会課題を解決	■自動機 アステラス製薬様、三菱ケミカルグループ様、当社の3社が協力し、バイオマスプラスチックを用いたPTPシートを世界で初めて実用化(2023年2月 第5回日本オープンイノベーション大賞において、環境大臣賞を受賞) ■機器 ・ワイヤレス対応商品の拡充 ・助力装置の拡充 ・環境負荷低減型商品の開発	事業戦略
注力する地域： 海外市場	インド・ASEAN地域での生産強化	・イタリアに販売会社設立 ・欧州在庫センター設置 ・マレーシアに生産会社設立 ・インド工場竣工	製造資本
DXを活用した サービスビジネス	創造的な知恵とデジタル技術で、流体制御と自動化を革新し、新たな価値を創出	・ExiaStudio開発 ・Facilia AI開発	DX戦略

■ マレーシア工場竣工

1984年に初めての海外拠点となるマレーシアに進出し、40周年を迎えた2024年11月に新たな生産工場を再びマレーシアに竣工しました。ASEAN地域における機器製品の生産体制を強化し、強固なサプライチェーンで成長市場及び製造業全般のグローバル需要拡大にタイムリーに対応してまいります。



工場概要	
名称	CKD MALAYSIA SDN.BHD.
所在地	マレーシア ケダ州クリム・ハイテクパーク
敷地面積	約87,400㎡
建屋面積	約15,800㎡

2. 経営効率の向上

■ 成長への投資

営業活動により創出された資金を、持続的な成長に必要な投資として確保し、成長投資と基盤強化に活用しています。今期は北陸工場やマレーシア工場・インド工場の立ち上げを進めました。今後も、中長期的な成長と企業価値向上を考え、将来に向けた事業基盤を築くための投資を進めていきます。

取組テーマ	概要	主な進捗・成果	関連ページ
資本政策の考え方 -キャッシュフロー概要-	持続的な成長に必要な投資を確保し、安定的且つ機動的な株主還元を実施		財務資本
資本政策の考え方 -成長への投資-	創出したキャッシュを活用し、M&Aを含む600億円規模の成長投資・基盤強化を実施	北陸工場やマレーシア工場、また、国内既存工場への生産性向上のための投資を実施	財務資本
設備投資計画・研究開発投資計画		設備投資5,023百万円、研究開発費3,546百万円	製造資本

3. 経営基盤の強化

持続的成長を支えるESG(非財務定性指標)

創出価値	重点テーマ	目標	主な進捗・成果	関連ページ
環境	気候変動への対応	CO ₂ 排出量削減：2030年度50%削減(2013年度対比・売上高原単位)、2050年度実質ゼロ TCFD提言への賛同、Scope3の導入検討	2024年度実績 削減率3.5%(2022年度比) 2024年度実績 削減率37.4%(2013年度比)	自然資本
	資源循環・廃棄物	水使用量の削減、廃棄物排出量の削減	水使用量：2024年度実績0.01%増加(前年度比) 廃棄物排出量：2024年度実績13.8%削減(前年度比)	
社会	多様な人材の活躍	女性管理職比率：2030年度10%以上 シニア社員の活躍推進	5.2% 再雇用制度を利用し65歳以上の従業員63名	人的資本
	従業員エンゲージメント	障がい者雇用 就労形態の多様化	障がい者雇用率：2025年3月末2.65%(法定雇用率は2.5%)	
		健康経営の推進、有給取得率平均65%以上	6年連続で健康経営優良法人2025(大規模法人部門)を取得	
ガバナンス	人権尊重の取組	人権デューデリジェンスの実施	-	社会関係資本
	グループ管理体制・リスクマネジメント強化	リスク管理・コンプライアンス・サステイナビリティ各委員会によるモニタリング強化	-	リスクマネジメント
	コーポレート・ガバナンス	経営計画達成に向けた最適な取締役会構成	-	コーポレート・ガバナンス

事業別戦略

自動機械事業

自動化技術の探究を通じて、環境や生産性向上のニーズに応え、社会課題の解決に貢献します。

人手不足による自動化と生産性向上ニーズ、環境負荷低減に対する社会の高い関心に対し、お客様の声を自動化技術を通じて形にし、豊かな社会と未来に貢献していきます。

主力の包装機械事業、産業機械事業のいずれにおいても、安定した生産体制を供給する提案力とサービスを通じ、私たち自身が主体的に学び、考え、行動し、お客様のご期待にお応えし続けてまいります。

執行役員
自動機械事業本部
副本部長
北洞 義明



事業ビジョン

業績目標達成に向けた、安定した収益ベースの構築に向けて、自動化技術の探究と共創を続け、世の中のお客様にご満足いただける自動機械をご提供し続けていくことが、自動機械事業における重要な課題です。

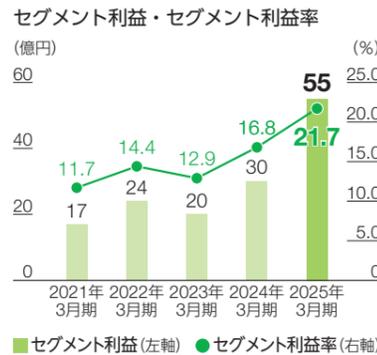
そのために、主力の包装機械事業におきましては、サービス向上に重きを置いた活動にシフトをしております。お客

様に価値を認めていただけるサービスメニューの拡充、サービス工事のリソースの向上を図り、顧客満足度向上を実現します。

同様に主力の産業機械事業におきましては、強靱な技術力を武器に、リチウムイオン電池用巻回機や検査事業を収益性の高い事業に変革してまいります。

目標/KPI

2024年度目標	2024年度実績	2025年度目標
売上高 190 億円	売上高 253 億円	売上高 190 億円



事業を通じて提供する価値

自動包装システム	・安心安全な医薬品安定供給実現のための包装システム及びサービスのご提供 ・包材スクラップ量削減や食品ロングライフ化対応による環境負荷低減
インライン薬品検査システム	・安心安全な医薬品の商品提供 ・検査工程の自動化・省人化 ・錠剤・PTPシートの品質向上に貢献
三次元はんだ印刷検査機	・プリント基板実装工程の品質保証と生産性向上に貢献
リチウムイオン電池用巻回機	・長期的なHEV、BEVの普及とカーボンニュートラルに貢献 ・顧客密着型開発で、安定した電池生産体制を実現

2024年度の報告

2024年度の受注は、自動機械事業全体で、前年度と比べ増加いたしました。内訳は薬品包装機の受注が増加し、産機は横ばいでした。

売上は、前期と比べて増収となりました。包装では国内におけるジェネリック医薬品の安定供給に向けた投資に対し、

計画通りに装置が出荷され、薬品包装機の売上が増加いたしました。産機では日系自動車メーカーの車載電池への投資が増加していることからリチウムイオン電池の製造システムの売上が増加いたしました。

セグメント利益は収益改善の効果にセールスマックスも加わり、前期と比べ増益となりました。品質向上改善活動や多能工化などの社員教育により、生産性改善、リードタイム短縮の改善効果が得られ、収益力の強化につながりました。

環境面におきましては、医薬品包装に使用するPTPシートの製造過程で出るプラスチックゴミを従来比70%以上削減する「エコスクラップ」技術、ClearE-Sheetを実用化いたしました。

自動機のあらゆる商品、サービスをお客様にご評価いただけるビジネスへとさらに成長させていきます。



リチウムイオン電池用巻回機

今後の見通し及び課題

包装機械分野では、ジェネリック向けの大型投資は一巡しましたが、国内医薬品業界では設備の安定稼働と、生産性向上のニーズがより高まっています。当社は安定した生産に貢献できるよう、サービス体制をさらに充実させてまいります。設備故障に対して迅速に対応する体制の整備、及び自動化、省人化、遠隔サポートのソリューション提案を充実させてまいります。また、環境負荷低減型商品への取組を促進し、プラスチックゴミの削減、包材のモノマテリアル化など環境にやさしい包装技術を提案してまいります。食品包装においてはフードロス削減などサーキュラーエコノミーの実現に取り組みます。

産業機械分野では、世界的なEV需要の減速により、車載用電池の投資計画は先行き不透明感が強まっています。当社

の高速、高精度なリチウムイオン電池用巻回機において、お客様の生産性向上と生産能力拡大に貢献するとともに、急激な変化に対応していきます。

検査装置分野では、顧客密着活動で最適な設備をご提供できる販売、生産体制を構築してまいります。



機器事業

お客様と共創し、ワクワクする未来へ

半導体(次世代パッケージ)への技術革新、カーボンニュートラルの実現、デジタル化推進など、私たちは、新しい価値を創造し、お客様と共にワクワクするソリューション提案を目指してまいります。お客様や市場ニーズが求める最適な提案を通じて、共に成長をしていきます。

また、グローバル半導体の需要拡大に向けて、米国オースティン工場、マレーシア新工場、北陸工場などによる生産能力の強化を行うとともに、テックセンターによる研究開発で革新的な製品・サポート体制を市場に提供してまいります。

常務執行役員
コーポレート役員
機器事業本部長
新寺 勝弘



事業ビジョン

● 半導体(次世代パッケージ)

高集積化や高密度化に追従するために、高精度の位置決め/高真空制御/特殊材料への技術革新が機器に求められています。また、環境規制への適合やグローバルサプライチェーン体制が重要視されています。私たちがグローバルアカウント体制でお客様との共創を強化し、より付加価値の高い商品の開発と提供を目指してまいります。

● カーボンニュートラル

カーボンニュートラルに向けた取組は、今や常識となっており遅れを取ることは許されません。環境貢献向けの商品

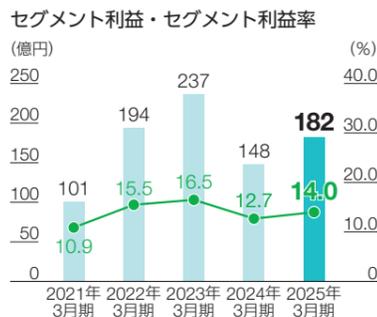
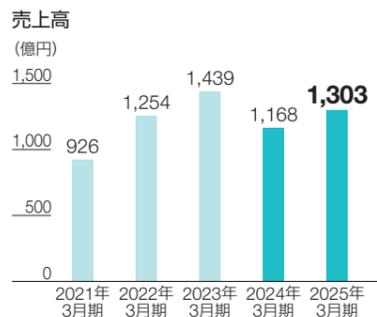
開発/提案を追求するとともに、生産エネルギーの見える化やスコップ3など、製造過程における環境負荷低減にも努めてまいります。

● デジタル化/自動化の推進

デジタル化と自動化を効率的に進め、業務効率の向上や人手不足の解消、品質や納期対応力の強化に取り組んでいます。FacileaやExiaStudioなどのデジタル技術(ソフト)と流体制御技術や自動化技術(ハード)で、お客様の生産性向上や人手不足の解消を提案してまいります。

目標/KPI

	2024年度目標	2024年度実績	2025年度目標
海外売上高比率の拡大	38%以上	38.1%	40%以上



■売上高

■セグメント利益(左軸) ●セグメント利益率(右軸)

■海外売上高(左軸) ●海外売上高比率(右軸)

事業を通じて提供する価値

ファインシステム機器	最先端プロセスに対応した薬液用機器や高真空・特殊ガス用機器など幅広い商品を展開しています。半導体需要の更なる拡大を支え、人々の豊かな暮らしづくりに貢献します。
空気圧機器	空気圧機器は、軽量で迅速な動作が可能であり、あらゆる産業での生産効率向上に貢献します。豊富な通信対応と自動化技術の探究と併せ、省エネや高寿命により環境負荷低減も貢献します。
駆動機器/電動機器 助力装置	空気圧・電動・ソフト、そしてそれらを組み合わせたハイブリッドのトータルソリューションでカーボンニュートラルやデジタル推進に貢献します。助力装置は、作業者の安全性・作業性をアシストし、働きやすい職場づくりに貢献します。
流体制御機器	半導体、モビリティ、医療、食品、農業など幅広い産業で、お客様に寄り添い付加価値を創出しています。また、新エネルギーを見据えた新たな技術革新も進めています。

2024年度の報告

生成AI関連の投資を背景に、半導体や電子部品業界の一部のお客様で在庫消化が進み、回復基調に転じてきました。海外市場では、半導体製造装置の国産化が進む中国や、HBM関連の投資が旺盛であった台湾や韓国で需要が増えてきています。当社においても、米国オースティン工場、マレーシア新工場、インド工場、北陸工場での生産基盤の構築とグローバルアカウント体制の強化を進めています。

お客様の困りごとをつかむため、技術者による訪問や技術交流会、各種展示会を積極的に開催しました。お互いの課題

を共有して、新たな価値の創出を今後も目指してまいります。

環境面では、生産工程のエネルギー監視ができる「エアモニタリングユニット」や省配線で止まらない生産に貢献する「IO-Link Wireless 入力ユニット」を発売しました。これらの新製品を含めたCKD機器を自社工場にも活用し、エネルギー生産性など新たな管理指標で自社工場の環境対応を推進しています。実例をお客様に見ていただく「魅せる工場化」により、お客様の困りごと、ニーズをつかみ、期待に応えてまいります。



エアモニタリングユニット IO-Link Wireless 入力ユニット



お客様との若手技術交流会

今後の見通し及び課題

半導体市場では、微細化や積層化による生産プロセスの複雑化により、新たな需要が生み出されています。お客様との共創やCKDグループ内の共創で、新しいアイデアを生み出し革新的な解決を見出していくことが大切であり、常に探究してまいります。

グローバル推進では、海外地域のニーズや仕様・規格を常に意識し、販売・開発・サービス強化に取り組んでいます。競争力を高め、ASEAN、インド、欧州を重点的に強化してまいります。

環境面では、環境に貢献する商品やカーボンニュートラ

ルビジネスに取り組むとともに、お客様に「ワクワクできる」「面白いね」と言っていただける商品開発を進めています。また、自社の製造においても柔軟に環境対応を進めてまいります。

最後に、全てにおいて社員一人ひとりの力を引き出し、会社と共に成長できる職場を作っていくことが重要です。エンゲージメントを高め、「ワクワク」することができる職場づくりを続け、自動化技術の探究と共創で健やかな地球環境と豊かな未来を拓けるように活動してまいります。

DX戦略

Purposeにおける「自動化技術」の1つとしてデジタル技術の重要性は今後益々高まると考え、DXビジョンを掲げています。デジタル技術全般を活用したソフトウェア開発に力を入れ、CKDが得意とする自動機械装置や機器といったハードウェアとあわせてシステム提供することにより、お客様や社会の課題を解決する自動化技術のソリューションの実現に取り組んでいきます。従来のハード単体の「モノ売り」から、お客様や社会の課題を解決するソリューションの「コト売り」への変革、さらには、ソリューションを継続的なサービスとして提供するリカーリングモデルの実現を目指しています。



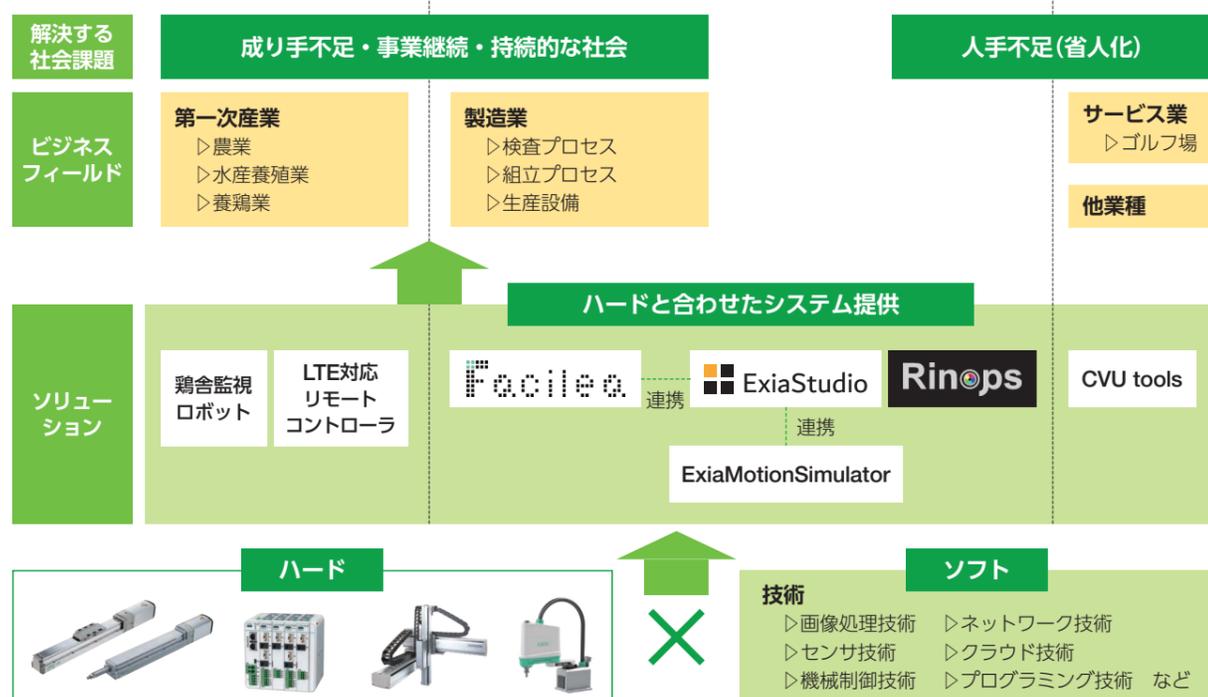
目標

DXビジョンの実現に向けて、中期経営計画としては、「顧客価値の創出」としてFA業界のお客様が求める、早く、安く、簡単に、自動化や見える化を実現し、止まらない生産を実現するソリューション開発を進めていきます。また、「社会課題の解決」としては、環境問題に貢献するソリューションや中小企業を含めた企業のDX推進に貢献するソリューション、労働人口減に悩む一次産業の課題を解決するソリューション開発に取り組めます。

ソフトウェアソリューション

ソフトウェアとハードウェアを組み合わせたお客様の生産性向上と社会の課題を解決するソリューションビジネスに取り組んでいます。

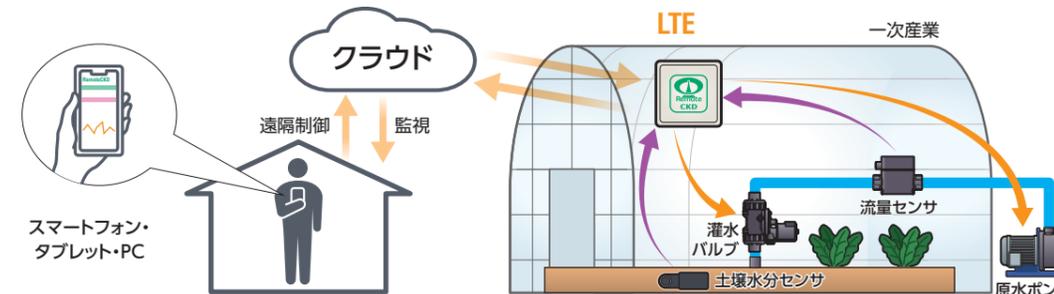
■ 体系図



■ ソフトウェアソリューション商品

■ 一次産業向けソリューション(LTE対応リモートコントローラ)

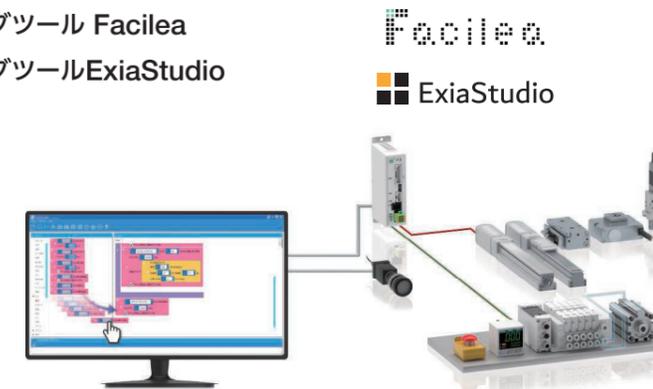
電磁弁やセンサ技術とIoTを融合し、農業・水産養殖分野に遠隔制御を提供します。スマートフォンから遠隔操作や異常確認ができ作業負担を軽減。



■ 画像処理ビジュアルプログラミングツール Facilea

■ デバイスビジュアルプログラミングツール ExiaStudio

プログラムの知識不要。ノーコードで画像処理、制御システム、データ収集が可能になります。データ通信により配線や機器を削減し、省スペース、低コスト、環境配慮を実現。



■ 業務におけるDXの取組

オペレーショナル・エクセレンスの確立を目指して、デジタル技術を活用し、生産性向上、QCDSの向上、カスタマー・エクスペリエンス(CX)の向上に取り組んでいます。

■ 国内外の基幹システム強化

中期経営計画の重点取組テーマ「経営効率の向上」の中に、基盤強化として「国内外の基幹システム強化」を掲げています。その取組の1つとして、グループ会社の基幹システム標準化を計画し、実施しています。さらに、国内のSAPのデータと合わせ、経営層から生産現場までデータに基づいた意思決定が可能になる「データドリブン経営」に取り組むことで、グローバル基盤整備を推進しています。

■ 社内向け生成AI[Nexus AI Chat]の活用

従業員向けに開催している勉強会「Dアカデミー」で効果的な生成AIの活用方法を学ぶ機会を提供しています。また、利用上のルールを明文化したガイドラインを作成し、当社の競争力強化や業務プロセスの効率化に向けて活用を推進しています。

■ カスタマー・エクスペリエンス(CX)の向上

営業部門では、デジタルマーケティングやSFA(営業支援システム)を活用した営業の生産性向上に取り組んでおり、お客様の声を技術や生産部門へ共有しています。CXを向上させ、お客様の期待に応える取組を実施しています。